

令和7年6月

お 客 さ ま 各 位

北 海 道 信 用 金 庫

「令和6年度 地域密着型金融推進計画の取組結果について」

当金庫は、地域専門の金融機関として、全力で「地域を守る」を合言葉に地域の皆さまへの支援力の強化を最重要課題と捉え業務にあたっております。

そのような中、皆さまから親しまれ、信頼される『アワーズしんきんバンクの実現』を目指し、令和6年度も地域密着型金融を積極的に推進してまいりましたので、その取組結果をお知らせいたします。

今後も地域経済活性化に資する取組みを、役職員一同、心を一つに「ONE TEAM(ワンチーム)」となって取り組んでまいりますので、引き続きご支援・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

なお、各項目の詳細につきましては、別添の「令和6年度 地域密着型金融推進計画」をご参照ください。

【主な取組実績】

1. コンサルティング機能の発揮

(1) ライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮

○創業・新事業支援の強化

創業・新事業支援に係る補助金や各種施策など、(株)しんきん北海道金融センターにて情報提供を行い、相談に応じております。

なお、令和6年度の創業・新事業支援融資の取扱実績は、190件、21億48百万円となりました。

○成長段階における支援・生産性向上支援の強化

資金管理の効率化、電子帳簿保存法・インボイス制度への対応、社内業務のデジタル化やペーパーレス化などの業務デジタル化・DX等、取引先事業者の様々な課題解決を支援するため、「北海道信用金庫 Mikatano(ミカタノ)シリーズ」を取り扱っております。

取引先事業者のコスト削減や脱炭素対応の取組みを支援するため、ミツウロコグリーンエネルギー(株)と提携し、ニーズに応じたサービスの提供を開始いたしました。

また、各種ビジネスマッチング事業への積極的な参画により、課題解決支援に取り組んでおります。

○経営改善支援の強化

金融円滑化対応先や経営改善支援先に対し、モニタリング・ヒアリングの実施や経営実態及び財務内容、経営改善計画の進捗状況を把握し、経営改善・事業再生支援を行い、期中に5先のランクアップを実現しました。

また、経営改善計画策定支援等として、経営改善計画策定支援事業を3先に、収益力改善支援事業を7先に活用いたしました。

○事業再生支援の強化

令和6年度は、当金庫提案による北海道中小企業活性化協議会の活用や、DDS等を活用した事業再生支援の取組実績はありませんでしたが、引き続き、事業再生支援について積極的に取り組んでまいります。

○事業承継支援の強化

過年度からの継続案件を含め、事業承継相談36件の対応を行いました。相談企業には、(株)しんきん北海道金融センターの担当者と業務提携先(北海道事業承継・引継ぎ支援センター及び民間M&A仲介会社)等が訪問し対応しております。

なお、今年度のM&A成約実績は、5件となりました。

(2) 円滑な資金供給の促進

担保・保証に過度に依存しない融資を心掛け対応しております。

また、取引先の実態を把握・分析する手段として、事業性評価シートの実成を行っております。

2. 地域の面的再生への積極的な参画

職業体験イベント「ドリームキッズシティ ISHIKARI」及び「おたるワークショップ」に出展し、地域の子どもたちに信用金庫のおしごとを体験してもらいました。

また、地域貢献活動の一環として、各地域の行事等に積極的参加・協力支援を行っております。

3. お客さま、地域の皆さまへの積極的な情報発信

職員の健康管理を経営的な視点で考え実践する「健康経営」を推進するため、「北海道信用金庫 健康経営宣言」を制定し、職員とその家族の健康保持・増進のための活動に積極的に取り組んでおります。令和7年3月には、前年に続き「健康経営優良法人(大規模法人部門)」に認定されております。

また、北海道信用金庫ビジネスレポート「市町村のご紹介コーナー」にて、営業区域内の当別町・夕張市・蘭越町・ニセコ町を掲載いたしました。

4. 企業の社会的責任(CSR)に根ざした経営

全営業店に設置している「ご意見メールBOX」に寄せられたご意見・ご要望等(29件)の中で、実現可能なものを経営施策に反映し、利用者満足度の向上に取り組んでおります。

また、当金庫清田支店の建替えにあたり、環境に配慮した木造の建物にて新築いたしました。

以上

令和6年度 地域密着型金融推進計画

1. コンサルティング機能の発揮

(1) ライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮

創業・新事業支援の強化

成長段階における支援・生産性向上支援の強化

経営改善支援の強化

事業再生支援の強化



事業承継支援の強化

(2) 円滑な資金供給の促進

2. 地域の面的再生への積極的な参画

3. お客さま、地域の皆さまへの積極的な情報発信

4. 企業の社会的責任（CSR）に根ざした経営

項 目	計 画（取組方針）	進捗状況
1. コンサルティング機能の発揮		
(1) ライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮		
<p>創業・新事業支援の強化</p>	<p>①情報の提供、適切な支援機能の強化</p>	<p>①創業・新事業支援に係る補助金や各種施策など、株式会社北海道金融センターにて情報提供を行い、相談に応じております。</p> <p>創業・新事業支援融資の全店取扱実績(令和6年4月～令和7年3月)… 190件、21億48百万円</p>
<p>成長段階における支援・生産性向上支援の強化</p>	<p>①経営相談等の機能強化及び情報提供機能の一層の強化 ②新たな事業展開、生産性の向上に資する支援機能の強化 ③ビジネスマッチング支援等</p> <div data-bbox="629 922 893 1278">  <p>(ビジネスマッチング広場)</p> </div> <div data-bbox="929 922 1240 1278">  <p>(Mikatano(ミカタノ)シリーズ)</p> <p>(個別商談会)</p> </div>	<p>①認定経営革新等支援機関として、各種補助金制度の活用に向けて取り組んでおります。</p> <p>②ものづくり補助金(第18次公募)では、3先(うち採択2先)のお客さまの申請手続きを支援いたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資金管理の効率化、電子帳簿保存法・インボイス制度への対応、社内業務のデジタル化やペーパーレス化などの業務デジタル化・DX等、取引先事業者の様々な課題解決を支援するために「北海道信用金庫 Mikatano(ミカタノ)シリーズ」を取り扱っております。 ・取引先事業者のコスト削減や脱炭素対応の取組みを支援するため、ミツロコグリーンエネルギー㈱と提携し、ニーズに応じたサービスの提供を開始いたしました。 <p>③信金中央金庫が制作する「2024年度優待カタログ」に、取引先3社の商品の掲載が決定いたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三越伊勢丹が製作する「旬彩カタログしんきんのつなぐ力」(2025年度版)に取引先3社の商品の掲載が決定いたしました。 ・「北洋銀行ものづくりサステナフェア2024」(7月24日)に、取引先1社が出展いたしました。 ・「東急百貨店との個別商談会」(9月10日)に、取引先2社が参加いたしました。 ・「北海道百科・北海道貿易物産振興会との個別商談会」(11月14日)に、取引先4社が参加いたしました。 <p>・北海道信用金庫ビジネスレポート「北海道信用金庫ビジネスマッチング広場」に取引先12社を掲載いたしました。</p>

項 目	計 画（取組方針）	進捗状況
経営改善支援の強化	①認定経営革新等支援機関としての経営改善支援等の実効性向上 ②地域金融円滑化に関する恒久的措置への対応 ③外部専門家との連携強化と積極的な活用	①認定経営革新等支援機関として、北海道中小企業支援ネットワーク等を通じて情報交換を行い、連携の強化を図っております。 ・経営改善・事業再生支援施策の活用・提案、及び北海道中小企業活性化協議会の経営改善計画策定支援事業・収益力改善支援事業を活用し、実効性の向上を図っております。 ・経営改善計画策定支援等として、経営改善計画策定支援事業を3先、収益力改善支援事業を7先に活用いたしました。 ②金融円滑化対応先や経営改善支援先(128先)に対し、モニタリング・ヒアリングの実施や企業の経営実態及び財務内容、経営改善計画の進捗状況を把握し、経営改善・事業再生支援を行っております。 ・今年度は、経営改善支援先のうち、5先がランクアップいたしました。 ・新型コロナウイルス対策支援ファンド「しんきんの礎」、政府系金融機関の新型コロナ対策資本金劣後ローン、北海道オールスターファンド(事業再生ファンド)等、新たな資金供給手法の促進を図っております。 ・政府系金融機関の新型コロナ対策資本金劣後ローンを活用し、1件の協調融資に対応いたしました。 ③地域プラットフォームとして、「北海道ビジネス創造連携プラットフォーム」、「北海道中小企業総合支援プラットフォーム」、「道央圏商工会議所ネットワーク」の構成機関になっております。 ・経営サポート会議や専門家派遣事業、よろず支援拠点等の外部機関・外部専門家を活用した支援活動に積極的に取り組んでおります。 ・外部専門家派遣事業を21先に活用いたしました。
事業再生支援の強化	①中小企業活性化協議会等の一層の活用 ②RCC・サービサー等との連携 ③事業再生支援機能の強化	①当金庫提案による北海道中小企業活性化協議会の活用実績はありませんでしたが、引き続き、事業再生支援について積極的に取り組んでまいります。 ②各サービサーに対するアプローチを継続実施してまいります。 ③新たにDDS等を活用した事業再生支援の取組みはありませんでしたが、引き続き、再生を目指す企業に対し、積極的かつ前向きな支援に取り組んでまいります。
事業承継支援の強化	①取引先企業の後継者問題、相続対策への対応  (株)しんきん北海道金融センター	①過年度からの継続案件を含め、事業承継相談36件の対応を行いました。相談企業には、(株)しんきん北海道金融センターの担当者と業務提携先（北海道事業承継・引継ぎ支援センター及び民間M&A仲介会社）等が訪問し対応しております。 ・今年度のM&A成約実績は、5件となりました。 ・「事業承継サポートネットワーク」の構成機関として、事業承継に関する地域の現状や課題等を共有しております。また、「事業承継診断ヒアリングシート」を活用し、経営者の承継に向けた意向調査を44社に実施いたしました。
(2) 円滑な資金供給の促進	①担保・保証に過度に依存しない融資の徹底 ②事業性評価に基づく円滑な資金供給 ③目利き能力の向上	①担保・保証に過度に依存しない融資を心掛け対応しております。 経営者保証に関するガイドラインの活用による無保証融資 4,051件 ②取引先の実態を把握・分析する手段として、事業性評価シートの作成を行っております。 事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高 624先 602億円 ③内部研修は、融資・渉外担当者向けとして9月に「課題解決型営業研修(中堅職員対象、22名)」、「ミドルリスク先への対応研修(中堅職員対象、20名)」、「融資実務セミナー(若手職員対象、延べ101名参加)」を実施いたしました。 ・外部研修は、北海道信用金庫協会主催「課題解決型営業研修」へ3名、「目利き力養成講座」へ2名、「貸出審査能力養成講座」へ3名が参加いたしました。

項 目	計画（取組方針）	進捗状況
<p>2. 地域の面的再生への積極的な参画</p>	<p>①地域住民及び産学官金労との連携強化 ②地域行事等への積極的参加</p>  (小樽運河散策路清掃活動)  (尻別川クリーン作戦)  (いのちの森樹祭)  (北の酒まつり)  (前田ふれあい祭り)  (夏まつりだま参道)  (おたる潮まつり)  (おたるワークステーション)  (ドリームキッズシティ ISHIKARI)  (キララ共和国独立建国祭)  (定山溪雪灯路)  (小樽雪あかりの路)	<p>① ㈱しんきん北海道金融センターが産学官連携支援協議会の委員を務め、「産学官連携支援事業」を支援しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のワーキングスペースを定期的に訪問し、創業希望者からの経営相談に応じております。 ・職業体験イベント「ドリームキッズシティISHIKARI」及び「おたるワークステーション」に出展し、地域の子どもたちに信用金庫のおしごとを体験してもらいました。 ・当金庫の推薦により、信金中央金庫が拠出した寄付金を活用して北海道後志振興局が実施する「しりべし産ワインを核とした地域ブランド力向上プロジェクト」をオブザーバーとしてサポートしました。 ・立地の良さを活かし、本店ビル前にて、新篠津村、新篠津村観光協会及び新篠津村商工会による新篠津村PR事業の実施に協力いたしました。 <p>② 地域貢献活動の一環として、各地域の行事等に積極的参加・協力支援を行っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光都市小樽の魅力向上に寄与するため、金庫役職員総勢68名により「小樽運河散策路清掃活動」を実施いたしました。（6月8日） ・「信用金庫の日」の前日にあたる6月14日（金）に、6か店で店舗周辺の清掃活動を実施しました。また、6か店で「花いっぱい運動」を実施いたしました。 ・小樽市「おたる潮まつり」に、金庫役職員総勢122名がねりこみの踊り手などで参加いたしました。（7月27日） ・小樽市「小樽雪あかりの路」に金庫役職員総勢27名のボランティアが、オブジェの製作・メンテナンスを実施いたしました。（2月1日～2月15日） ・その他、地域や商店会の行事等にも参加・協力し、地域の皆さまと交流を図っております。
<p>3. お客さま、地域の皆さまへの積極的な情報発信</p>	<p>①経営内容・取組等に関する情報発信 ②地域に関する情報発信</p>  (市町村のご紹介コーナー)  (健康経営優良法人認定)	<p>① ディスクロージャー誌及びホームページに経営状況を公表し、経営の透明性向上を図っております。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の健康管理を経営的な視点で考え実践する「健康経営」を推進するため、「北海道信用金庫 健康経営宣言」を制定し、職員とその家族の健康保持・増進のための活動に積極的に取り組んでおります。令和7年3月には、前年に続き「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に認定されております。 <p>② 北海道信用金庫ビジネスレポート「市町村のご紹介コーナー」にて、営業区域内の当別町・夕張市・蘭越町・ニセコ町を掲載いたしました。</p>

項 目	計 画（取組方針）	進捗状況
<p>4. 企業の社会的責任（CSR）に根ざした経営</p> <p>①各種セミナーの開催 ②金融経済教育の実施 ③CS向上への取組み ④環境問題への取組強化</p>	<p>①各種セミナーの開催 ②金融経済教育の実施 ③CS向上への取組み ④環境問題への取組強化</p>  <p>(経済講演会)</p>  <p>(小樽商科大学提供講義)</p>  <p>(個別法律相談会)</p>  <p>(当金庫清田支店(9月24日新築オープン))</p>  <p>(省エネ診断報告会)</p>  <p>(金融経済教育授業)</p>	<p>①伊藤 元重氏(東京大学名誉教授)を講師に迎え、『世界経済の動向と変化する日本経済』と題し、北海道信用金庫経済講演会を開催いたしました。(参加者数：401名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営者向け「個別法律相談会」を開催いたしました。(参加3先) ・「創業スクール」を開催いたしました。(10月22日～11月12日 延べ参加者48名) ・年金受給予定者を対象とした年金セミナー「お役に立つ年金の知識」を、札幌市、江別市、小樽市にて全4回開催いたしました。 <p>②小樽商科大学において「商学特講～信用金庫の役割と地域経済活性化」と題し、提供講義(前期2単位)を開催いたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各大学からの依頼により、講義に金庫職員を講師として派遣しております。(7月：札幌学院大学 講師2名、7月：小樽商科大学 講師2名、1月：札幌大学 講師1名) ・小樽市内中学校から依頼を受け、金庫職員が講師となり、金融・経済についての授業を行いました。 ・金融教育の一環として、毎年、小中学校等の職場見学を受入しており、11月には澄川支店で中学生4名を受入いたしました。今後も依頼があった場合は、積極的に対応いたします。 <p>③お客さま満足度調査において、お客さまの声アンケート結果及びご意見・ご要望等(29件)を集約し、利用者満足度の向上に取り組んでおります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全営業店に設置している「ご意見メールBOX」に寄せられたご意見・ご要望等(通期36件)の中で、実現可能なものを経営施策に反映し、利用者満足度の向上に取り組んでおります。 ・高い業務知識と優れた対応能力を持つ職員を認定する制度「CSマスター」は、令和7年4月1日現在で4名となっております。「CSマスター」は内部の研修講師等に優先的に指名しており、他の職員の模範・目標となることで、業務担当者全体の能力向上を図っております。 <p>④清田支店の建替えにあたり、環境に配慮した木造の建物にて新築いたしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「クールビズ2024」(5月27日～10月4日)を実施いたしました。 ・「ウォームビズ2024」(12月2日～3月31日)を実施いたしました。 ・二酸化炭素排出量削減に向け、当金庫の「環境自主行動計画」に基づき各種取組みを実施しております。 ・お客さまの環境問題への取組みを支援し、環境に関する融資の促進を図るため、ESG融資の定義と年間目標を設定し、ホームページ上に公表しております。(ESG：環境・社会・ガバナンス) ・地域のESGに関する課題の解決に向け、環境対策のための二酸化炭素排出削減や省エネルギーに寄与する事業及び事業所への融資を促進すべく「環境対策応援ローン」を取り扱っております。 ・省エネお助け隊の省エネ診断事業を取引先事業所1先に紹介し、省エネ診断報告会を開催いたしました。 ・省エネ及び環境配慮への対応として、省エネ対応冷暖房への更新を20店舗、LED化を4店舗実施いたしました。 ・お客さま用の販促品等の一部について、環境に配慮した素材(FSC認証紙・カーボンオフセット用紙等)を使用しているものを採用しております。